

令和4年2月16日

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会 実施報告

地方独立行政法人大阪府立病院機構
理事長 遠山 正彌 殿

大阪国際がんセンター
総長 松浦 成昭 殿

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会
委員長 北村 温美

大阪国際がんセンターの医療安全に係る監査委員会設置要綱第8条第1号に基づき、監査を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 監査の方法

大阪国際がんセンターにおける医療安全に係る業務の状況について、以下のとおり管理者等からの聴取及び資料の閲覧等の方法によって説明を求めることにより、監査を実施した。

2. 監査の実施日並びに出席者

《開催日時》 令和4年2月16日（水） 15:00～16:30

《開催方法》 WEB 開催

《出席者》 監査委員 北村 温美（委員長）
三木 祥男
センター 松浦 成昭 総長
谷上 博信 医療安全管理責任者・副院長
梅下 浩司 医療安全管理部門長・医療機器安全管理責任者
綱島 和子 医療安全管理者・副看護部長
吉田 智江 医療安全管理者・医薬品安全管理責任者・
副薬局長
賀川 綾野 看護部リスク委員会委員長・中央手術室師長
（庶務）岩永 大輝 総務・広報グループ主事
中前 友花 総務・広報グループ主事

3. 監査の内容及び結果

(1) コロナ禍における当院の現状（BCP の視点から）

新型コロナウイルスの流行（第6波）により、感染のみならず、保育園等の休園に伴う職員の欠勤が多く生じ、一部の専門科では手術実施困難となったが、病院全体として、毎日のミーティングでの情報収集と方針修正、看護部による柔軟な応援体制等によりがん診療における重要な病院機能を維持されている点は評価できる。

本年2月に職員・患者を含め、10人以上のクラスターが発生し病棟閉鎖を要したが、迅速に対応しさらなる拡大を防ぎ得たこと、引き続き標準予防策を徹底することの報告があった。

(2) タイムアウトに関すること

当センターでは、WHO手術安全チェックリストを基に当センター独自の安全対策を追加しきめ細かなチェックリストを策定、運用されていること、および術前カンファレンスを含め多診療科、多職種でのコミュニケーションにより手術安全を高めている旨の報告があった。

4. 総括

大阪国際がんセンターの医療安全に係る業務について監査を実施した。

新型コロナウイルス感染症に伴い医療現場の環境が大きく変動する中で、毎日の調整と柔軟な対応により、病院機能を維持し続けていること、および、システムと人的ネットワークの双方により手術安全を維持している点が高く評価される。